

JP04287113

Publication Title:

JP04287113

Abstract:

Abstract not available for JP04287113

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-287113

(43) 公開日 平成4年(1992)10月12日

(51) Int.Cl.⁵

G 0 6 F 3/12

識別記号

庁内整理番号

D 8323-5B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-51902

(22) 出願日 平成3年(1991)3月18日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号

(71) 出願人 000211329

中国日本電気ソフトウェア株式会社
広島県広島市南区稻荷町4番1号

(72) 発明者 山本 唯夫

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式
会社内

(72) 発明者 川崎 誠司

広島県広島市南区稻荷町4番1号中国日本
電気ソフトウェア株式会社内

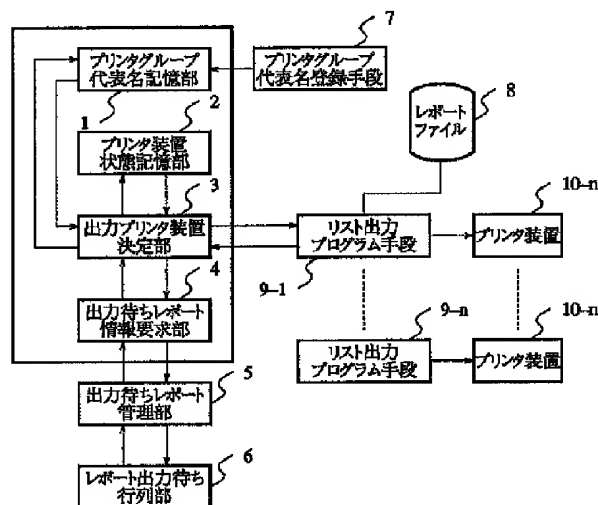
(74) 代理人 弁理士 内原 晋

(54) 【発明の名称】 プリント出力制御装置

(57) 【要約】

【構成】 グループ代表名登録部7は、接続されている複数のプリンタを複数のグループに分けグループの代表名とそのグループに属するプリンタ装置群を登録する。プリンタ装置状態記憶部2は、各プリンタ装置の使用状態、未使用状態、障害状態と、最終出力のレポートの用紙名を記憶する。出力待ちレポート情報要求部4は、待ち行列手段で待機中のレポートの宛先プリンタグループ代表名と出力用紙名とレポートの属性を取り出す。出力プリンタ装置決定部3は、この出力待ちレポート情報要求部4によって取り込んだ情報と、上記プリンタグループ代表名と、プリンタ装置状態とを照合し出力プリンタ装置を決定する。

【効果】 用紙の掛け換えや障害時の出力プリンタ装置変更などの人手の介入を最小限におさえることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータに接続された複数のプリンタ装置のひとつを経由して送出されるレポートの送出順位を登録する待ち行列手段を備えたプリンタ出力制御装置において、(A) 接続されている複数のプリンタを複数のグループに分けグループの代表名とそのグループに属するプリンタ装置群を登録するプリンタグループ代表名登録手段と、(B) このプリンタグループ代表名登録手段により登録されたプリンタグループ代表名とそのグループに属するプリンタ装置名を記憶するプリンタグループ代表名記憶手段と、(C) 各プリンタ装置の使用状態、未使用状態、障害状態と、最終出力のレポートの用紙名を記憶するプリンタ装置状態記憶手段と、(D) 上記待ち行列手段で待機中のレポートの宛先プリンタグループ代表名と出力用紙名とレポートの属性を取り出す出力待ちレポート情報要求手段と、(F) この出力待ちレポート情報要求手段によって取り込んだ情報と、上記プリンタグループ代表名と、プリンタ装置状態とを照合し出力プリンタ装置を決定する出力プリンタ装置決定手段と、を備えたことを特徴とするプリンタ出力制御装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はプリンタ装置出力制御装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の技術は、レポートをプリンタに出力しようとした場合、レポート作成時に出力するプリンタ装置を指定し、レポート出力待ち行列に登録された順に出力されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このような技術では、レポート作成時に出力するプリンタ装置を決定しなければならず、場合によっては、プリンタの用紙のかけかえが頻繁に発生してしまう。また、プリンタ装置に障害が発生した場合、出力先プリンタ装置の変更を利用者が行わなければならないという欠点があった。

【0004】 本発明はこのような欠点を除去するもので、出力先のプリンタ装置の状態を意識することなく、効率的なレポートのプリンタ出力を行うことのできるプリンタ出力制御装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明のプリンタ出力制御装置は、(A) 接続されている複数のプリンタを複数のグループに分けグループの代表名とそのグループに属するプリンタ装置群を登録するプリンタグループ代表名登録手段と、(B) このプリンタグループ代表名登録手段により登録されたプリンタグループ代表名とそのグループに属するプリンタ装置群を記憶するプリンタグループ代表名記憶手段と、(C) 各プリンタ装置の使用状態、未使用状態、障害状態と、最終出力のレポートの用

紙名を記憶するプリンタ装置状態記憶手段と、(D) 上記待ち行列手段で待機中のレポートの宛先プリンタグループ代表名と出力用紙名とレポートの属性を取り出す出力待ちレポート情報要求手段と、(F) この出力待ちレポート情報要求手段によって取り込んだ情報と、上記プリンタグループ代表名と、プリンタ装置状態とを照合し出力プリンタ装置を決定する出力プリンタ装置決定手段と、を備えて構成される。

【0006】

【実施例】 次に本発明について図面を参照して説明する。図1は本発明の一実施例を示すブロック図である。図に示すようにプリンタ出力制御装置は、コンピュータに接続された複数のプリンタ装置10-1~10-nのひとつを経由して送出されるレポートの送出順位を登録する待ち行列手段である出力待ちレポート管理部5およびレポート出力待ち行列部6と、プリンタ装置10-1~10-n毎の使用状態、未使用状態、障害状態と、最終出力のレポートの用紙名を記憶する手段であるプリンタ装置状態記憶部2と、上記待ち行列手段で待機中のレポート宛先プリンタグループ代表名と出力用紙名を取り出す出力待ちレポート情報要求部4と、接続されている複数のプリンタを複数のグループに分けグループの代表名とそのグループに属するプリンタ装置群を登録するプリンタグループ代表名登録手段7と、このプリンタグループ代表名登録手段により登録されたプリンタグループ代表名とそのグループに属するプリンタ装置群を記憶するプリンタグループ代表名記憶部1と、上記レポート情報要求手段によって取り込んだ情報と、上記プリンタグループ代表名と、プリンタ装置状態とを照合し出力プリンタ装置を決定する手段である出力プリンタ装置決定部3を備えている。

【0007】 利用者は、予めプリンタグループ代表名登録手段7によりプリンタグループ代表名とそのグループに属するプリンタ装置群の情報をプリンタグループ代表名記憶部1に登録しておく。レポート出力待ち行列部6にレポートが登録されると、出力待ちレポート管理部5は、出力待ちレポート情報要求部4に登録されたレポートの情報を通知する。通知された出力待ちレポート情報要求部4は、出力プリンタ装置決定部3に出力待ちレポートの情報を通知し、出力プリンタ装置決定部3は、通知されたプリンタグループ代表名からプリンタグループ代表名記憶部1を参照し、そのプリンタグループ代表名に属するプリンタ装置群の情報を取り込む。

【0008】 出力プリンタ装置決定部3は、取り込んだプリンタ装置群の情報から、プリンタ装置状態記憶部2を参照し、プリンタ装置の出力状態、及び通知された出力待ちレポートの用紙名と各プリンタ装置の最終出力レポートの用紙名を照合する。取り込んだプリンタ装置群のなかに、未出力状態のプリンタ装置がなければ処理を終了する。

【0009】取り込んだプリンタ装置群のなかに、未出力状態で最終出力レポートの用紙名と出力待ちレポートの用紙名が同じプリンタ装置10-1があれば、出力プリンタ装置10-1を決定し、リスト出力プログラム手段9-1にレポートの情報を通知し、プリンタ装置状態記憶部2にプリンタ装置10-1が出力状態になったことを記憶させる。レポート情報を受け取ったリスト出力プログラム手段9-1はレポートの出力を開始する。

【0010】取り込んだプリンタ装置群のなかに、未出力状態で最終出力レポートの用紙名と出力待ちレポートの用紙名が同じプリンタ装置がなく、出力状態で用紙名が同じプリンタ出力装置がある時は、そのプリンタ装置からの出力処理終了通知待ちとなる。

【0011】取り込んだプリンタ装置群のなかの、未出力状態、出力状態の両方に出力待ちレポートと同じ用紙名のプリンタ装置がない時は、未出力状態のプリンタ装置10-nを決定し、リスト出力プログラム手段9-nにレポートの情報を通知する。通知されたリスト出力プログラム手段9-nは、利用者に用紙の掛け代えが発生したことを知らせ、用紙の掛け代えが終了し、出力を開始した時に出力プリンタ装置決定部3に通知し、出力プリンタ装置決定部3は、プリンタ装置状態記憶部2にプリンタ装置10-2が出力状態になった事と、出力中の用紙名を記憶させる。

【0012】リスト出力プログラム手段9-1は出力が完了すると、その旨出力プリンタ装置決定部3に通知し、出力プリンタ装置決定部3は、そのプリンタ装置が最後に出力した用紙名と同じ用紙名の出力待ちレポートが有るかどうかを出力待ちレポート情報要求部4を介して出力待ちレポート管理部5に照合し、有ればそのレポートの情報をリスト出力プログラム手段9-1に通知する。無ければ出力プリンタ決定部3は、プリンタ装置状態記憶部2を参照し、出力状態のプリンタ装置の用紙名

を取り込み、それ以外の用紙名の出力待ちレポートが有るかどうかを再度出力待ちレポート情報要求部4を介して出力待ちレポート管理部5へ照合し、有ればリスト出力プログラム手段9-1に通知し、なければ処理を終了する。

【0013】レポート出力中にプリンタ装置10-1で障害が発生した場合、リスト出力プログラム手段9-1はその旨を出力プリンタ装置決定部3に通知し、出力プリンタ装置決定部3は、プリンタ装置状態記憶部2にプリンタ装置10-1が障害状態であることを記憶させ出力中だったレポートのプリンタグループ名と用紙名から再度出力プリンタ装置を決定する。

【0014】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、コンピュータに接続されている複数のプリンタ装置を複数のグループに分け出力装置としてそのグループを指定させることにより、そのグループに属するプリンタ装置群のなかからディスプレイ装置を決定することにより、用紙の掛け代えや障害時のディスプレイ装置変更などの人手の介入を最小限におさえることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 プリンタグループ代表名記憶部
- 2 プリンタ装置状態記憶部
- 3 出力プリンタ装置決定部
- 4 出力待ちレポート情報要求部
- 5 出力待ちレポート管理部
- 6 レポート出力待ち行列部
- 7 プリンタグループ代表名登録手段
- 8 レポートファイル
- 9-1~9-n リスト出力プログラム手段
- 10-1~10-n プリンタ装置

【図1】

